

学校評価アンケート【後期】

学校アンケート(後期)の結果について

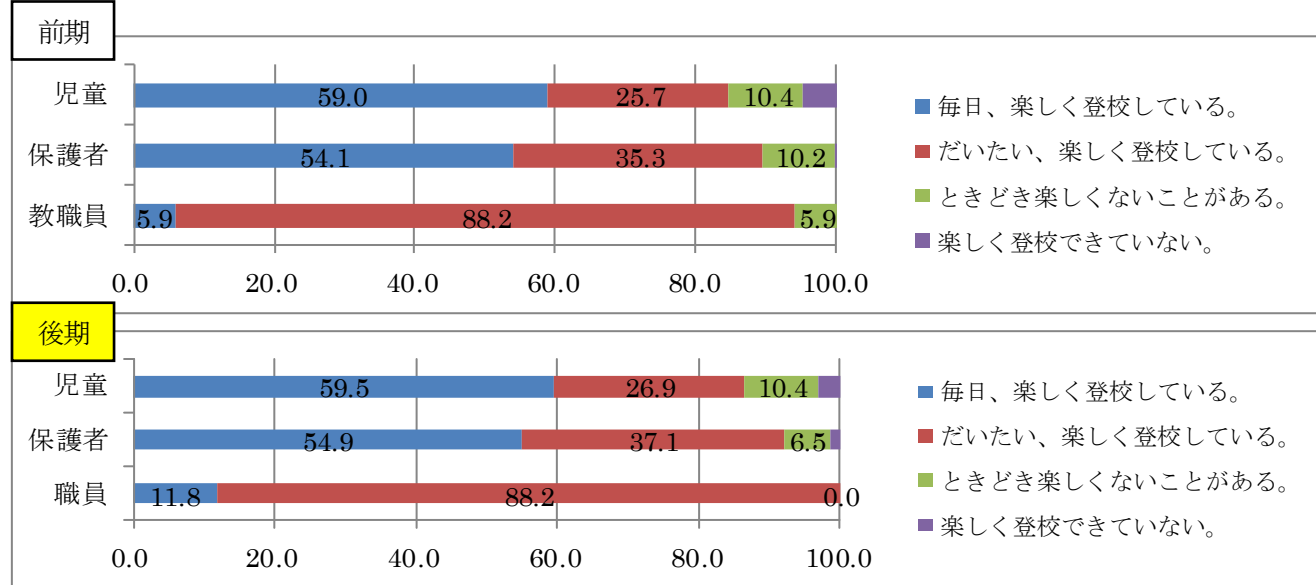
保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察致します。さて、先日は前期に引き続き学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせ致します。

本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

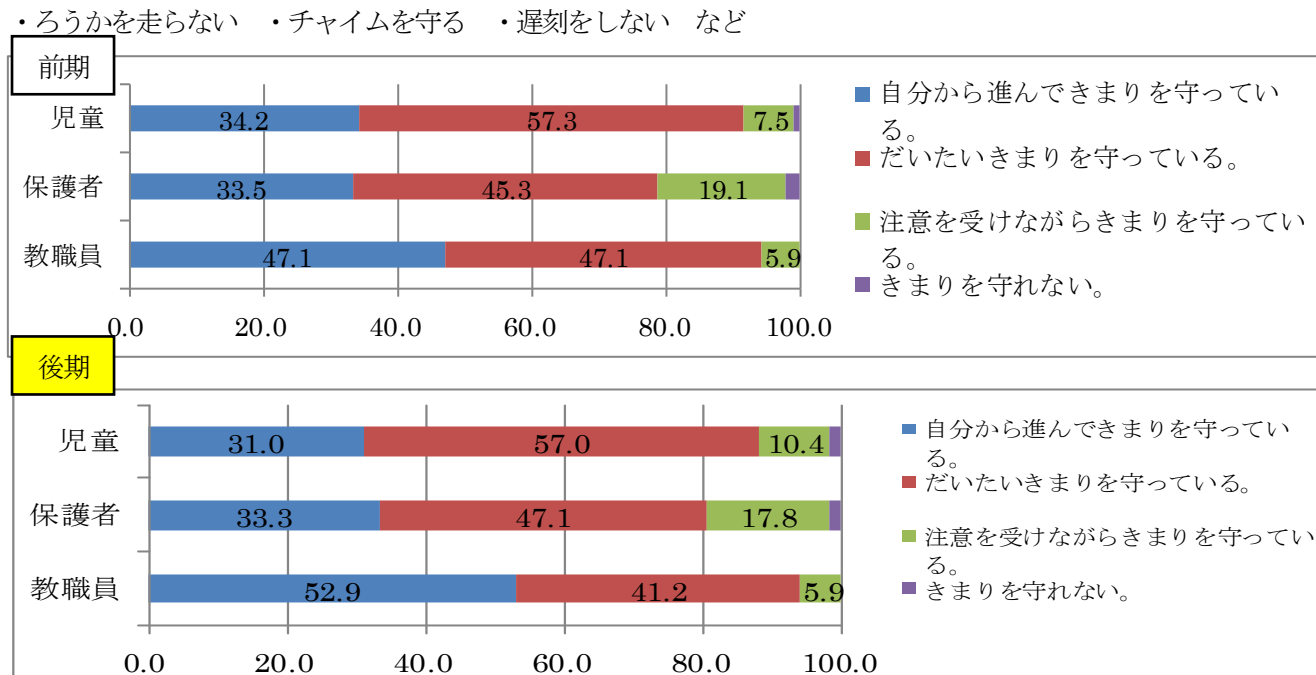
アンケート結果の見方について

子ども、保護者、職員それぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、その内容に関する指導ができているかを表しています。また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

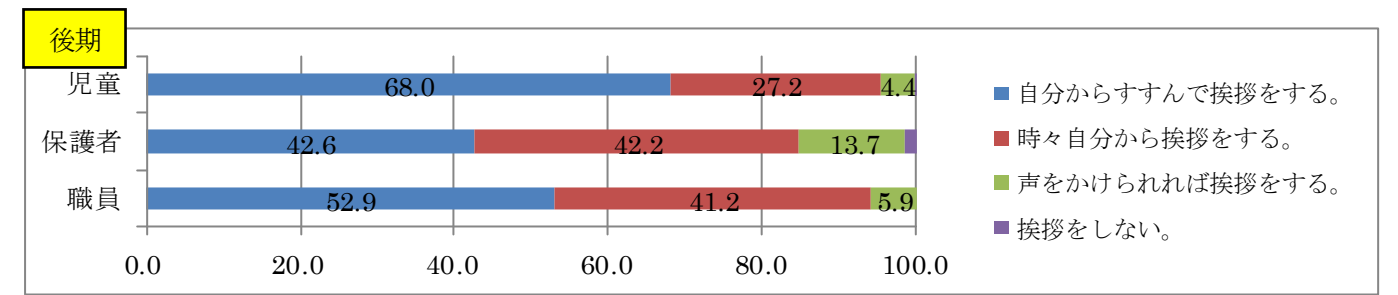
1. 学校に来るときの気持ちについて



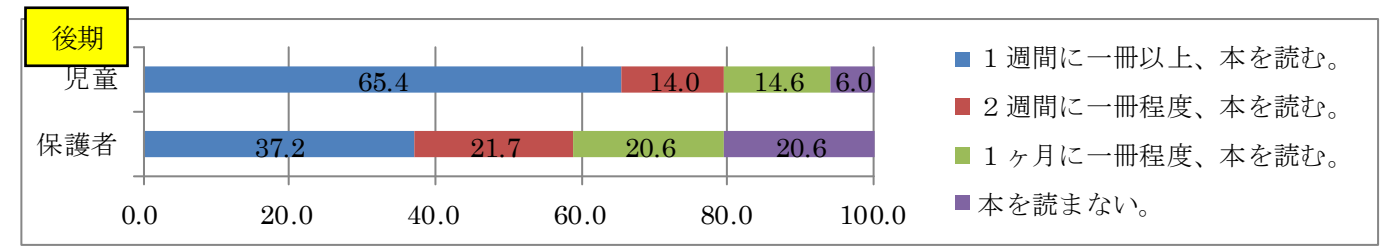
2. 学校のきまりについて



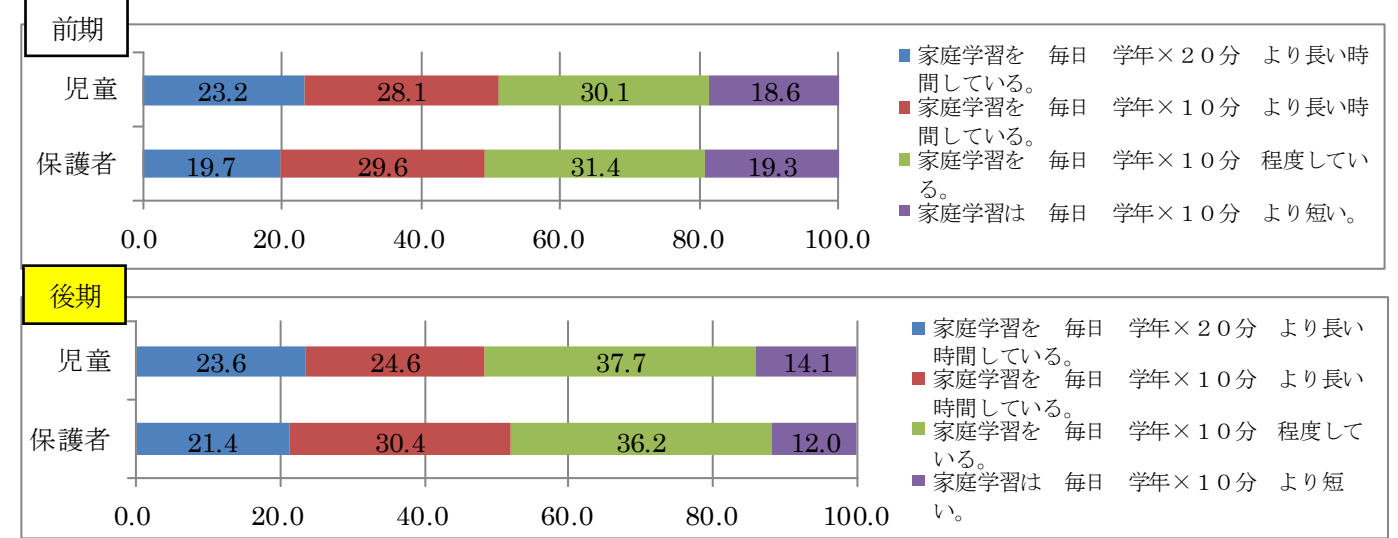
3. あいさつについて



4. 読書について (児童・保護者)



5. 家庭学習について (児童・保護者)



アンケートの分析

○学校に来るときの気持ち 86%の児童、92%の保護者、100%の教職員が、おおむね「楽しく登校している」と選んでいます。これは、前期と比べ、それぞれ向上しています。その理由は学校行事が多くあり、様々な児童に活躍の機会がある充実した2学期であった結果だと考えられます。しかし、児童の3%10名(前期5%15名)が依然として満足感を得ていないことがわかりました。引き続き家庭と学校と情報交換をしながらきめ細かく児童を見つめていくことにより、楽しく登校できるようにしていきたいです。

○学校のきまり 前期と比較して、児童の「きまりを守る意識」は、やや後退しています。保護者・教職員の見方では、やや向上している点から考えると「自分に厳しい評価」をしていることが考えられます。現在は、校内で落ち着きを見せている児童の「気のゆるみ」に敏感に気付き、さらにより泉台小学校になるよう指導していきたいです。

○あいさつ 児童・教職員の90%以上、保護者の約85%が「挨拶はできている」と評価しています。前期と比べやや向上している様子が伺えます。夏の「いじめ防止サミット」を受け、毎月実施している「全市一斉あいさつの日」の取り組みを継続していきます。各家庭でも、朝の「おはよう」から声をかけていただくようお願いいたします。言葉遣いについても全校で継続して指導していきます。

○読書 「週に1冊以上読む」児童はやや減少し、保護者はやや増加しています。これは、高学年の児童が読書する時間が十分にとれずいたり、大作(厚い本)に取り組んだりしたため、冊数が増えなかったことも理由の一つに考えられます。国語科の学習の発展で教科書教材に関連した作品を「並行読書」させる取り組みを継続しています。テレビ・ゲーム等のメディア接触の時間も含めて放課後の過ごし方について学校と家庭が連携して指導していきましょう。

○家庭学習 85%の児童は、学年×10分程度からそれを越える時間、学習しています。より長い時間頑張っている児童が20%程度いる一方、時間が短かったり、学習しなかったりする児童も約15%います。11月より実施している「家庭学習カード」をみると、自主学習を進めている児童も多くなりました。児童のノートを見ても内容が充実してきています。学校では継続して「宿題は必ず行い、自主学習を進める」よう指導していきますので、各家庭でも声をかけてください。